

グローバル株式インカム

(毎月決算型)

(3ヵ月決算型) 予想分配金提示型

(年1回決算型)

情報提供資料

2025年6月

追加型投信／内外／株式

組入銘柄から読み解く 3つの視点

グローバル株式インカム（3ヵ月決算型）予想分配金提示型、グローバル株式インカム（年1回決算型）は、NISAの成長投資枠の対象です。

※販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

・本資料内ではファンドの名称について、グローバル株式インカム（毎月決算型）を「（毎月決算型）」、グローバル株式インカム（3ヵ月決算型）予想分配金提示型を「（3ヵ月決算型）予想分配金提示型」、グローバル株式インカム（年1回決算型）を「（年1回決算型）」という略称で記載する場合があります。また、これらを総称して「グローバル株式インカム」または「当ファンド」、各々を「各ファンド」、「グローバル株式インカムマザーファンド」を「マザーファンド」という場合があります。・本資料は当ファンドの概略を記載したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモなどについては投資信託説明書（交付目論見書）をご確認いただく必要があります。

LSEG
Lipper

Fund Awards

Winner 2025
Japan

グローバル株式インカム（毎月決算型）

LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2025

株式型 グローバル インカム（評価期間3年・5年・10年）

最優秀ファンド賞 受賞

・当該評価は過去の一定期間の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
・後記の「LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2025について」の内容を必ずご覧ください。

投資信託口座を通じたお取引の場合

お申込み・販売会社は



三菱UFJ銀行

株式会社三菱UFJ銀行
登録金融機関 関東財務局長（登金）第5号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

金融商品仲介口座を通じたお取引の場合

お問合せ・照会先



三菱UFJ銀行

株式会社三菱UFJ銀行
登録金融機関 関東財務局長（登金）第5号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

委託金融商品取引業者・販売会社は

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2336号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

三菱UFJ銀行の苦情処理措置および紛争解決措置は一般社団法人全国銀行協会または特定非営利活動法人証券・金融商品あっせん相談センターを利用します。

全国銀行協会相談室：0570-017109 / 03-5252-3772（証券・金融商品あっせん相談センター：0120-64-5005）

受付時間：月～金曜日9:00～17:00（祝日・12/31～1/3等を除く）

グローバル株式インカム 3つの視点

長期投資で大切なことは、投資先企業の長期的な成長です。

その成長の持続性を捉えるために、株主還元に対する積極性・持続性に焦点を当てた株価評価アプローチを実践してきました。そのベースは、株価は中長期的にその企業の本源的価値、すなわち企業が生み出す将来のキャッシュフローから割り出される価値へと収束するという考えによるものです。

本資料では、上位組入銘柄を例に「好配当」「高い信用力」「割安」の3つの視点を解説します。

好配当 の視点

配当利回りだけでなく“株主還元の積極性”にも着目します。“良好な財務体質”と“安定した収益基盤”を併せ持つ企業が好配当を実現すると考えます。

■ 好配当銘柄の特性



・上記はイメージであり、すべてを網羅するものではありません。

高い信用力 の視点

投資適格格付けを有する企業は、一般的に良好な財務体質を有しており、持続的な株主還元に結びつけることができると考えます。

■ 格付けと信用力のイメージ

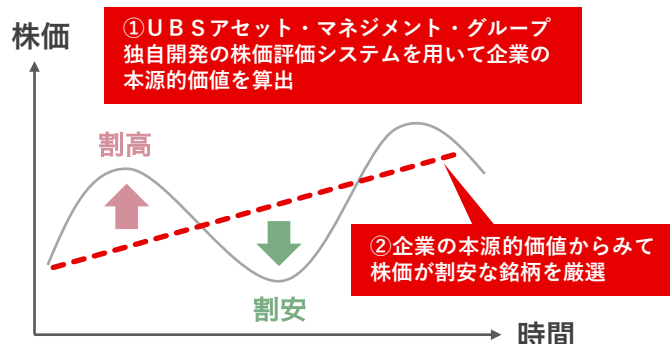
長期発行体格付け		
Moody's	S&P	
Aaa	AAA	強い 高い ↑ 財務体質 信用力
Aa	AA	
A	A	
Baa	BBB	
Ba	BB	↓ 弱い 低い
B	B	
Caa	CCC	
Ca	CC	
C	R	
—	SD, D	

- ・格付けが高い企業の倒産リスクは低いと考えられますが、当該企業の発行する株式そのものの元本保全性等を表すものではありません。
- ・当該格付けは企業の債務履行能力（信用度）を評価するものであり、当該企業の発行する株式に対する評価ではありません。
- ・無格付け企業を含め、投資適格に準ずる財務体質を有すると判断される企業に投資する場合があります。

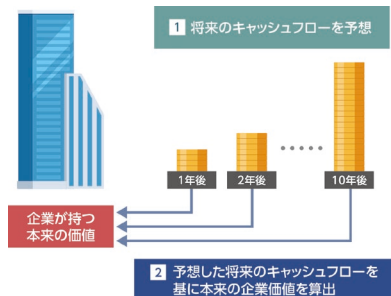
割安 の視点

将来のキャッシュフローに着目し算出した“企業が持つ本来の価値”に対して割安となっている企業は、長期的な株価上昇が期待されると考えます。過去や足元のキャッシュフローの堅調さを判断材料にはせず、UBSアセット・マネジメント・グループのグローバルに展開するアナリストがボトムアップで行う多面的な調査に基づき、企業業績の長期推移を予想。“企業が持つ本来の価値”に対して株価が割安であると判断した銘柄に投資します。

■ UBSアセット・マネジメント・グループ独自の割安評価手法活用した投資行動のイメージ



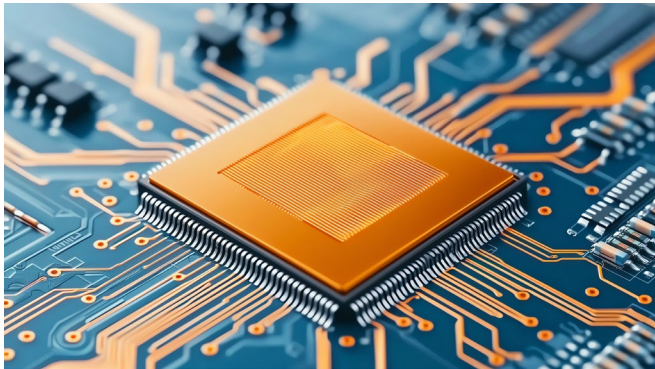
“企業が持つ本来の価値”の算出イメージ



・上記は割安評価手法を活用した投資行動の理解を深めていただくことを目的としたイメージ図であり、全てを網羅するものではありません。
・市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

銘柄選定の3つの視点：ブロードコム

多様な半導体の開発を手掛ける大手半導体メーカー



・画像はイメージです。

業種	情報技術
国・地域	アメリカ
格付け	BBB+
予想配当利回り	1.23%
組入順位	1位
組入比率	6.8%

・2025年4月末時点



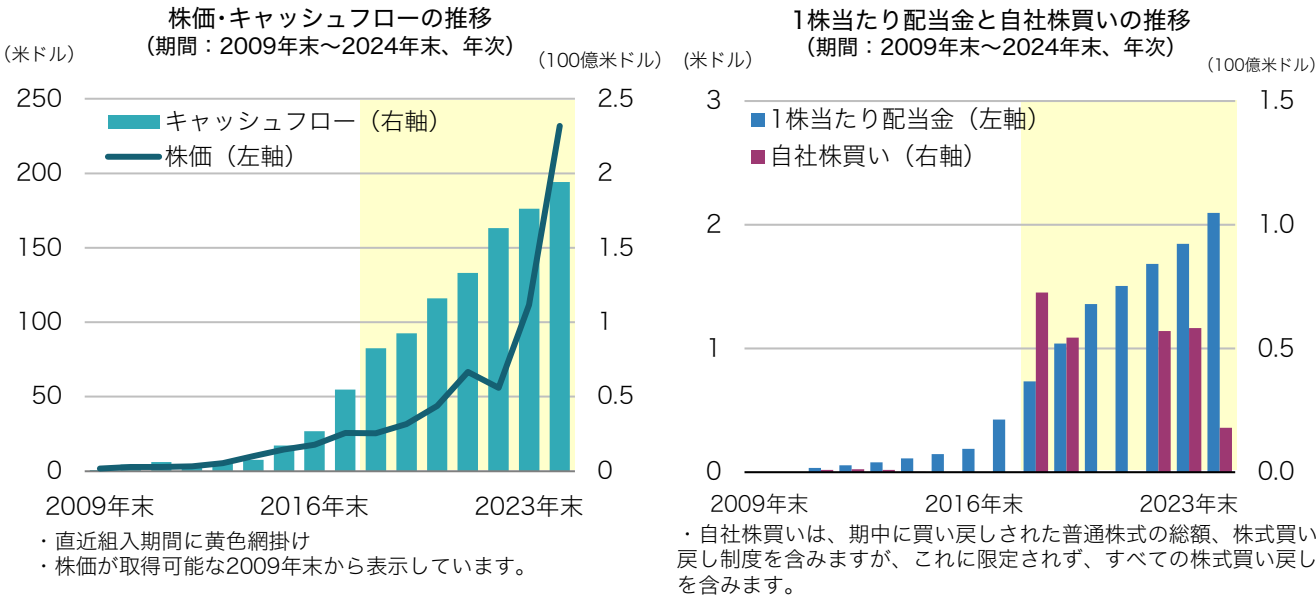
好配当の視点

14年連続での増配実績があり、安定した株主還元を継続しています。営業キャッシュフロー（本業による収益）の大部分がフリーキャッシュフローとして確保されており、財務の健全性が際立っています。この潤沢なフリーキャッシュフローは、株主還元の原資として活用されるとともに、将来の成長に向けた投資にも貢献しています。



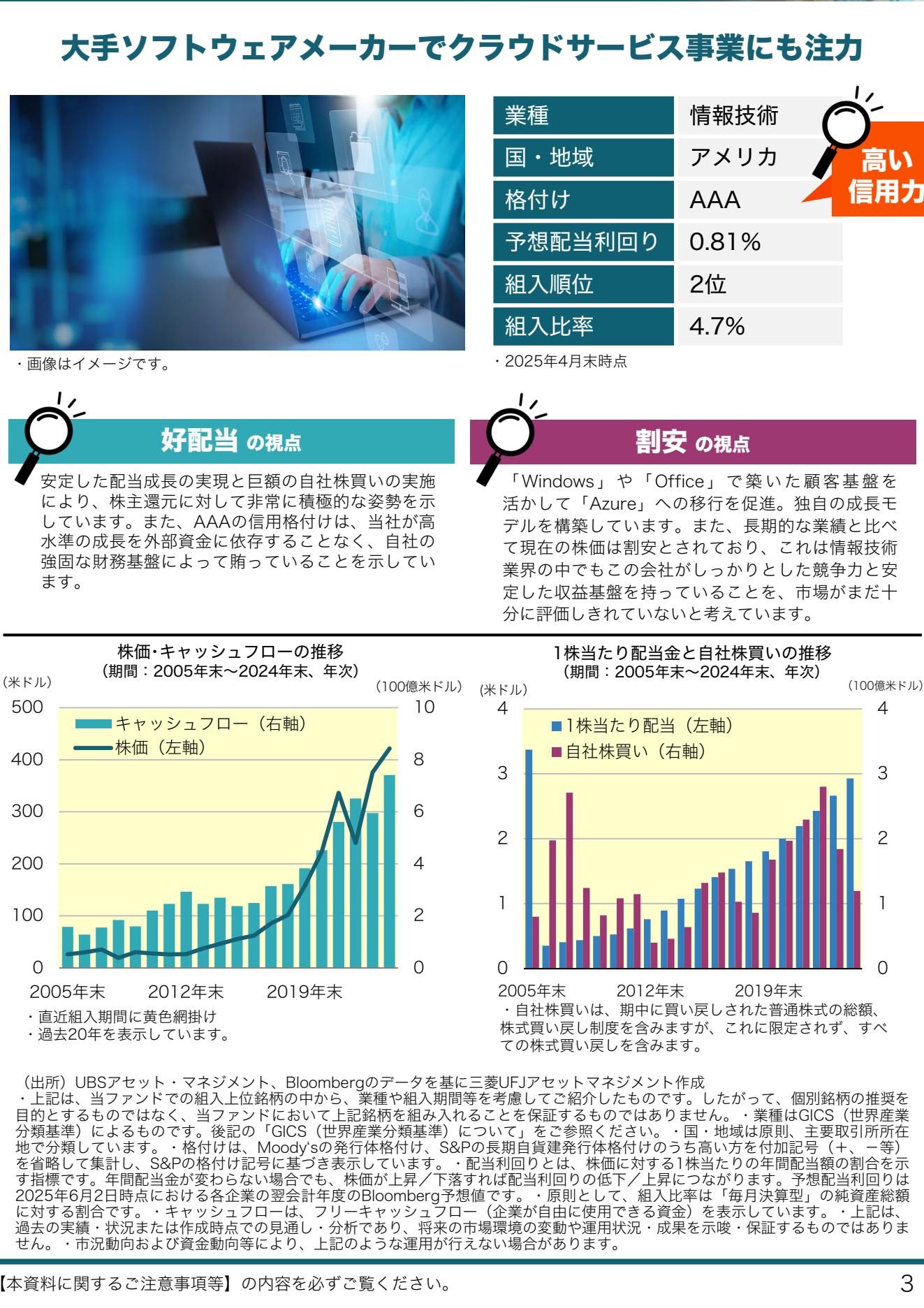
割安の視点

本企業は通信向け半導体の基幹技術を有し、生成AI（人工知能）やネットワーク製品の需要増を背景に、情報技術業界の中でも安定した成長が期待されます。長期的な業績と比較して現在の株価は割安とされており、市場が同社の強みを十分に織り込めていない可能性があります。



(出所) UBSアセット・マネジメント、Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成
・上記は、当ファンドでの組入上位銘柄の中から、業種や組入期間等を考慮してご紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・業種はGICS（世界産業分類基準）によるものです。後記の「GICS（世界産業分類基準）について」をご参照ください。・国・地域は原則、主要取引所所在地で分類しています。・格付けは、Moody'sの発行体格付け、S&Pの長期自貨建発行体格付けのうち高い方を付加記号（+、-等）を省略して集計し、S&Pの格付け記号に基づき表示しています。・配当利回りとは、株価に対する1株当たりの年間配当額の割合を示す指標です。年間配当金が変わらない場合でも、株価が上昇/下落すれば配当利回りの低下/上昇につながります。予想配当利回りは2025年6月2日時点における各企業の翌会計年度のBloomberg予想値です。・原則として、組入比率は「毎月決算型」の純資産総額に対する割合です。・キャッシュフローは、フリーキャッシュフロー（企業が自由に使用できる資金）を表示しています。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。・市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

銘柄選定の3つの視点：マイクロソフト



銘柄選定の3つの視点：ウィリアムズ・カンパニーズ

天然ガスの輸送、販売、加工を手掛ける米国のパイプライン運営会社



・画像はイメージです。

業種	エネルギー
国・地域	アメリカ
格付け	BBB+
予想配当利回り	3.42%
組入順位	4位
組入比率	3.2%

・2025年4月末時点

高い
信用力

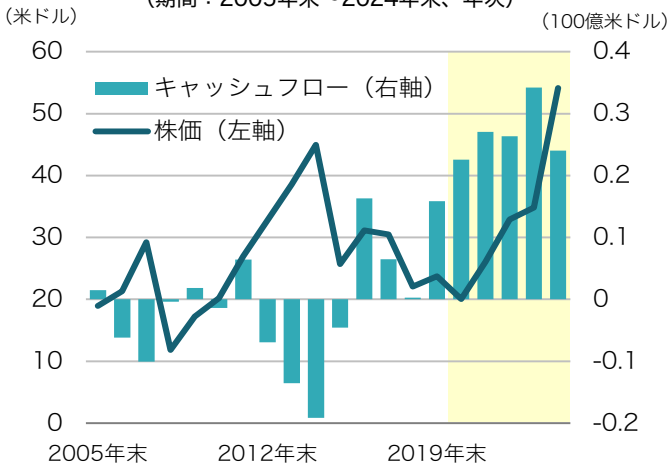
好配当 の視点

旺盛な設備投資を継続しながらも、財務の健全性を維持しており、信用格付けは引き続き投資適格水準にあります。これは、安定した事業基盤と強固なキャッシュフロー創出力を裏付けるものであり、こうした財務的な安定性とキャッシュフローの着実な成長を背景に、積極的な配当政策を展開しています。

割安 の視点

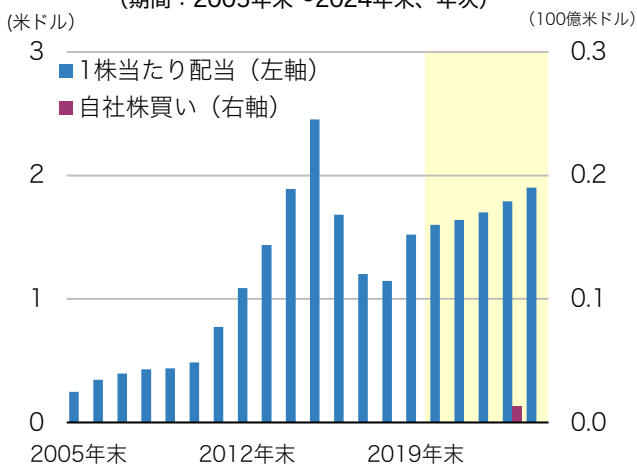
米国内で生産される天然ガスの約3分の1を輸送するパイプラインを運営する最大手企業です。欧州ではロシアへのエネルギー依存からの脱却を目指す動きが進んでおり、米国からのLNG輸出はさらに増加する見通しです。こうした背景から、今後も安定した成長と収益拡大が期待され、市場はその本質的価値をまだ十分に織り込んでいない可能性があります。

株価・キャッシュフローの推移
(期間：2005年末～2024年末、年次)



- ・直近組入期間に黄色網掛け
- ・過去20年を表示しています。

1株当たり配当金と自社株買いの推移
(期間：2005年末～2024年末、年次)



- ・自社株買いは、期中に買い戻された普通株式の総額、株式買い戻し制度を含みますが、これに限定されず、すべての株式買い戻しを含みます。

(出所) UBSアセット・マネジメント、Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・上記は、当ファンドでの組入上位銘柄の中から、業種や組入期間等を考慮してご紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・業種はGICS（世界産業分類基準）によるものです。後記の「GICS（世界産業分類基準）について」をご参照ください。・国・地域は原則、主要取引所所在地で分類しています。・格付けは、Moody'sの発行体格付け、S&Pの長期自貨建発行体格付けのうち高い方を付加記号（+、一等）を省略して集計し、S&Pの格付け記号に基づき表示しています。・配当利回りとは、株価に対する1株当たりの年間配当額の割合を示す指標です。年間配当金が変わらない場合でも、株価が上昇/下落すれば配当利回りの低下/上昇につながります。予想配当利回りは2025年6月2日時点における各企業の翌会計年度のBloomberg予想値です。・原則として、組入比率は「毎月決算型」の純資産総額に対する割合です。・キャッシュフローは、フリーキャッシュフロー（企業が自由に使用できる資金）を表示しています。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。・市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

銘柄選定の3つの視点：フィリップ・モリス・インターナショナル

世界各国でたばこ製品を販売する世界最大級のたばこ会社



・画像はイメージです。

業種	生活必需品
国・地域	アメリカ
格付け	A
予想配当利回り	3.24%
組入順位	5位
組入比率	3.0%

・2025年4月末時点



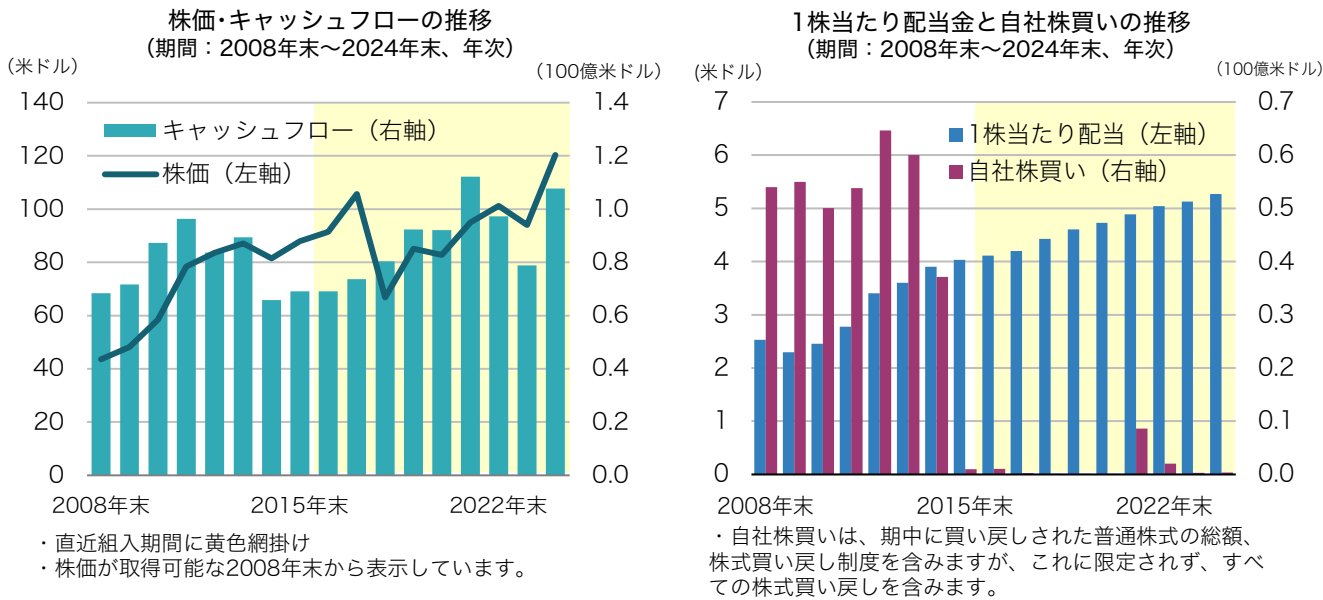
好配当 の視点

株主還元に対する積極的な姿勢が高く評価されています。安定的なキャッシュフロー創出力を背景に、信用格付けは投資適格水準を維持しています。直近組入期間内では増配を継続しており、持続的な株主価値の向上に取り組んでいます。



割安 の視点

業界への新規参入に対する経済的な動機が乏しいことから、競争環境は安定しています。強いブランド力を有し、相対的に高い成長性を持つ米国外市場に事業を集中させている同社の成長特性を踏まえると、現在の株価水準は割安であると評価しています。



(出所) UBSアセット・マネジメント、Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成
・上記は、当ファンドでの組入上位銘柄の中から、業種や組入期間等を考慮してご紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・業種はGICS（世界産業分類基準）によるものです。後記の「GICS（世界産業分類基準）について」をご参照ください。・国・地域は原則、主要取引所所在地で分類しています。・格付けは、Moody'sの発行体格付け、S&Pの長期自貨建発行体格付けのうち高い方を付加記号（+、一等）を省略して集計し、S&Pの格付け記号に基づき表示しています。・配当利回りとは、株価に対する1株当たりの年間配当額の割合を示す指標です。年間配当金が変わらない場合でも、株価が上昇/下落すれば配当利回りの低下/上昇につながります。予想配当利回りは2025年6月2日時点における各企業の翌会計年度のBloomberg予想値です。・原則として、組入比率は「毎月決算型」の純資産総額に対する割合です。・キャッシュフローは、フリーキャッシュフロー（企業が自由に使用できる資金）を表示しています。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。・市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

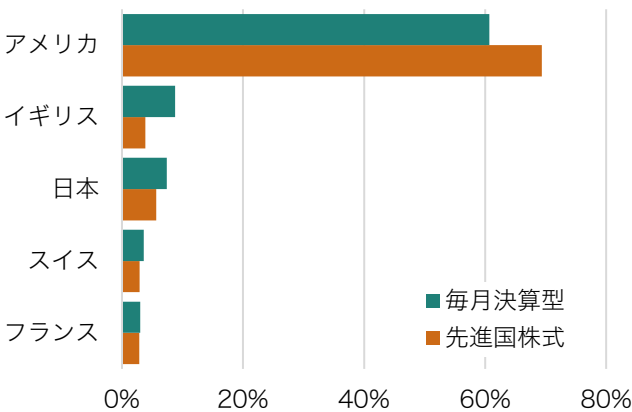
「毎月決算型」の運用状況 ① 2025年4月末時点

組入上位10銘柄

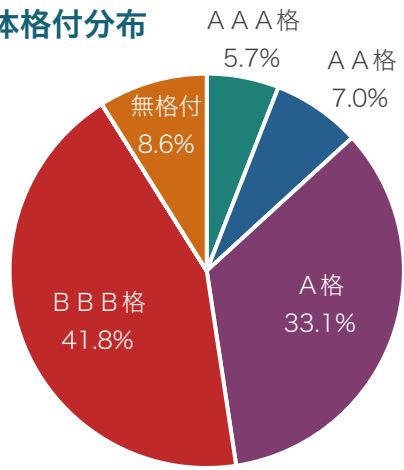
組入銘柄数：54銘柄

	銘柄名	国・地域	通貨	業種	比率
1	ブロードコム	アメリカ	米ドル	情報技術	6.8%
2	マイクロソフト	アメリカ	米ドル	情報技術	4.7%
3	ブリistol・マイヤーズ スクイブ	アメリカ	米ドル	ヘルスケア	3.3%
4	ウィリアムズ・カンパニーズ	アメリカ	米ドル	エネルギー	3.2%
5	フィリップ・モリス・インターナショナル	アメリカ	米ドル	生活必需品	3.0%
6	リーガル・アンド・ジェネラル・グループ	イギリス	英ポンド	金融	2.6%
7	TモバイルUS	アメリカ	米ドル	コミュニケーション・サービス	2.6%
8	センブラ	アメリカ	米ドル	公益事業	2.6%
9	ウェルズ・ファーゴ	アメリカ	米ドル	金融	2.4%
10	三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本	日本円	金融	2.3%

組入上位5カ国・地域

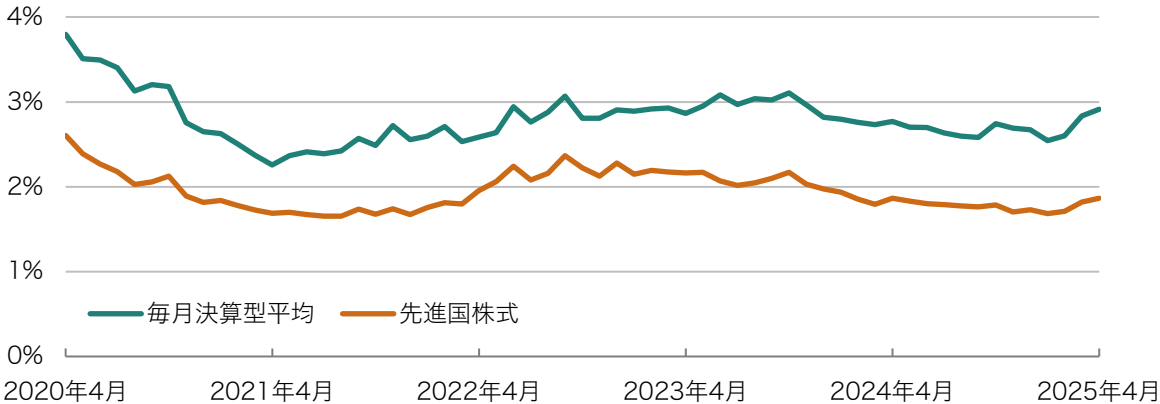


発行体格付分布



(参考) 過去5年間の実績配当利回りの推移

(期間：2020年4月末～2025年4月末)

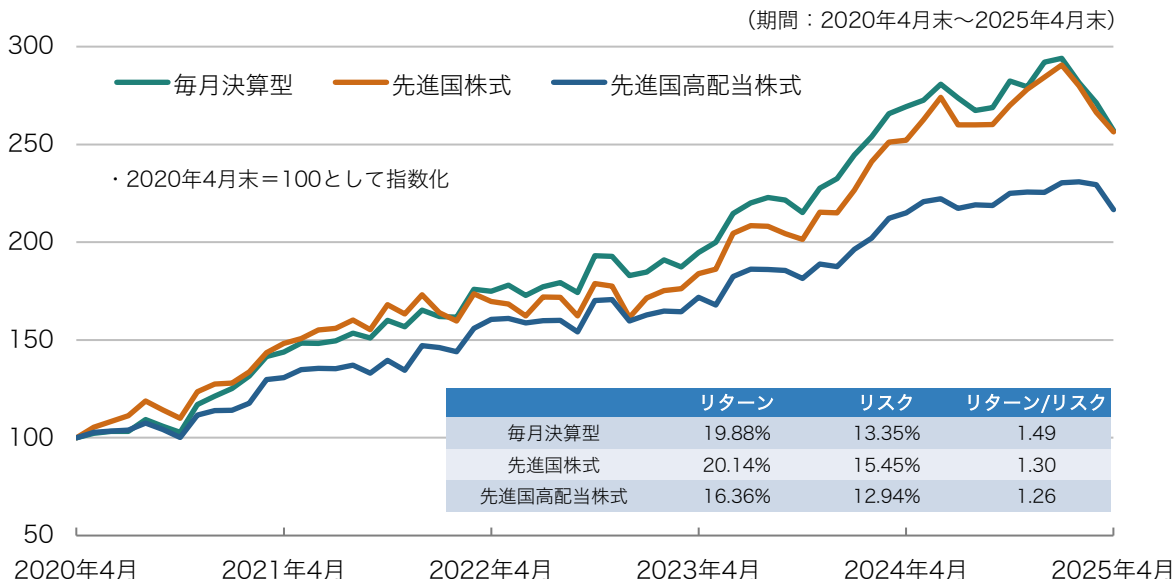


(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成
・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率はコールローン他を除く実質株式に対する割合です。
・国・地域は原則、主要取引所所在地で分類しています。・発行体格付は、S&P、Moody'sのうち最も高い格付を表示しています。なお、付加記号(十、一等)を省略して集計し、S&Pの格付記号に基づき表示しています。格付が高い企業の倒産リスクは低いと考えられますが、当該企業の発行する株式そのものの元本安全性等を表すものではありません。当該格付は企業の債務履行能力(信用度)を評価するものであり、当該企業の発行する株式に対する評価ではありません。・「毎月決算型平均」は、各銘柄の実績配当利回りを純資産総額に対する組入比率で加重平均して算出しています。よってファンドの将来の分配をお約束するものではありません。・先進国株式は、「毎月決算型」および当ファンドのベンチマークではありません。指数については【本資料で使用している指数について】をご覧ください。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

「毎月決算型」の運用状況 ② 2025年4月末時点

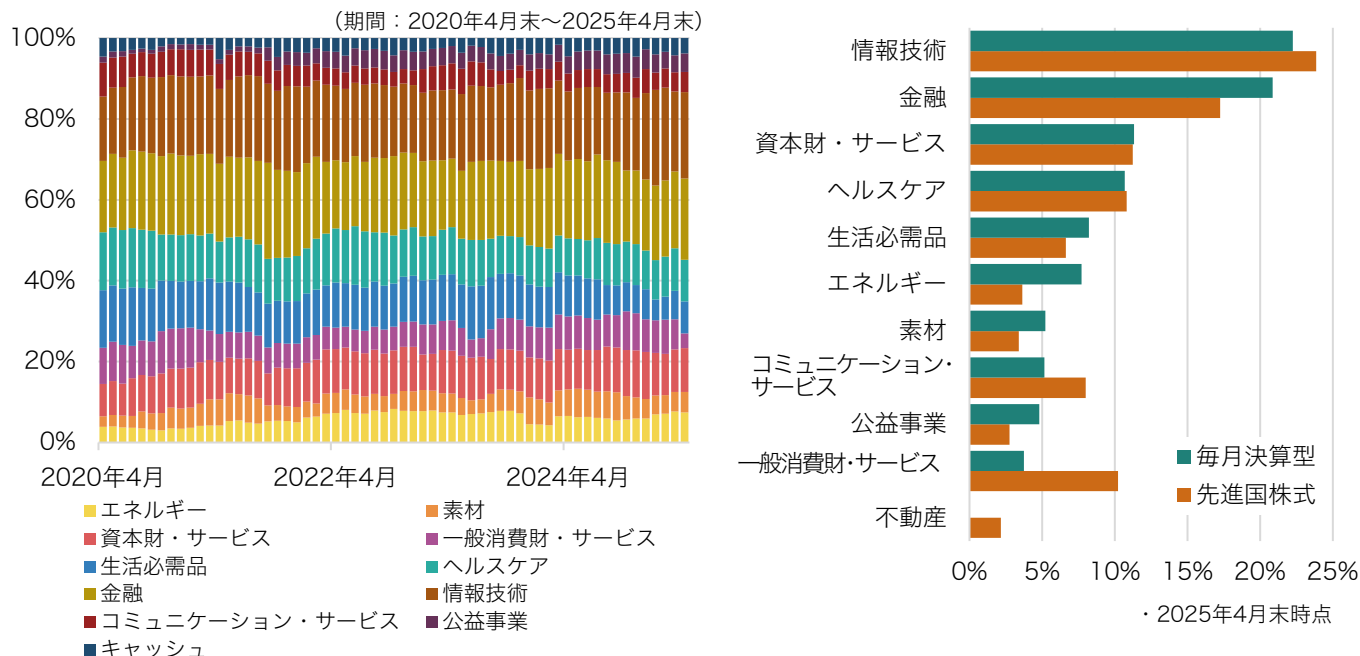
■ 過去5年間のパフォーマンス

過去5年間の「毎月決算型」のパフォーマンスは、「先進国株式」および「先進国高配当株式」よりも効率的にリターンを積み上げ、2.5倍以上に成長しました。



■ 過去5年間の組入上位10業種の推移

「毎月決算型」は業種が分散されていることも魅力の一つです。景気や金利の変動による影響は業種によって異なるため、業種を分散させることもポートフォリオを考えるうえで重要な視点となります。



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・毎月決算型は、分配金再投資ベースのパフォーマンスです。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率はコールローン他を除く実質株式に対する割合です。・業種は、GICS（世界産業分類基準）で分類しています。・先進国株式および先進国高配当株式は、「毎月決算型」および当ファンドのベンチマークではありません。指数については【本資料で使用する指数について】をご覧ください。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。・計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。・運用実績におけるリターンは月次騰落率の平均を年率換算（月次騰落率の平均×12）したものであり、リスクは月次騰落率の標準偏差を年率換算したものです。

ファンドの目的・特色/投資リスク/ファンドの費用

ファンドの目的 信託財産の成長を目指して運用を行います。

ファンドの特色

- 特色1 世界主要先進国の株式を主要投資対象とします。
- 特色2 銘柄選定の基準として企業の信用度を重視します。
・原則として、為替ヘッジは行いません。
- 特色3 (毎月決算型)
毎月決算を行い、収益の分配を行います。
(3ヵ月決算型) 予想分配金提示型
年4回の決算日(2・5・8・11月の各7日(休業日の場合は翌営業日))の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。(初回決算日は、2025年8月7日です。)
(年1回決算型)
年1回の決算時(11月7日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。(初回決算日は、2025年11月7日です。)
将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因：基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動、為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、株価変動リスク、為替変動リスクです。
上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。
くわしくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの費用

※三菱UFJ銀行でお申込みの場合

■お客さまが直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入金額(購入価額×購入口数)×手数料率で得た額 手数料率は、購入代金(購入金額+購入時手数料(税込))に応じて以下の率とします。	
		購入代金	手数料率
		5,000万円未満	3.30%(税抜 3.00%)
		5,000万円以上1億円未満	2.20%(税抜 2.00%)
		1億円以上	1.10%(税抜 1.00%)
		※インターネット取引でご購入の場合は、上記表内の手数料率から10%優遇(投信つみたて(継続購入プラン)・投信積立を除く)。■(毎月決算型)投資信託口座(投信つみたて(継続購入プラン))：つみたて回数に応じて2.9700%(税込)から段階的に優遇* ■(3ヵ月決算型)予想分配金提示型/(年1回決算型)投資信託口座(投信つみたて(継続購入プラン))：つみたて回数に応じて2.9700%(税込)から段階的に優遇* 金融商品仲介口座(投信積立)：上記表内の手数料率から30%優遇 *くわしくは三菱UFJ銀行ホームページをご覧ください。 ■スイッチングの場合：かかりません。	
換金時	信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.15%をかけた額	

■お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用(信託報酬)	各ファンドの日々の純資産総額に対して、 年率1.2870%(税抜 年率1.1700%) をかけた額
	その他の費用・手数料	以下の費用・手数料についても各ファンドが負担します。・監査法人に支払われる各ファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、各ファンドの基準価額に反映されます。(毎月決算型)/(3ヵ月決算型) 予想分配金提示型については、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。(年1回決算型)については、毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。
※ファンドの費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、各ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

収益分配金に関する留意事項

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

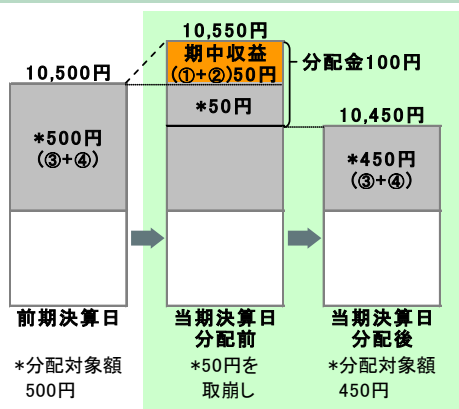
投資信託から分配金が支払われるイメージ



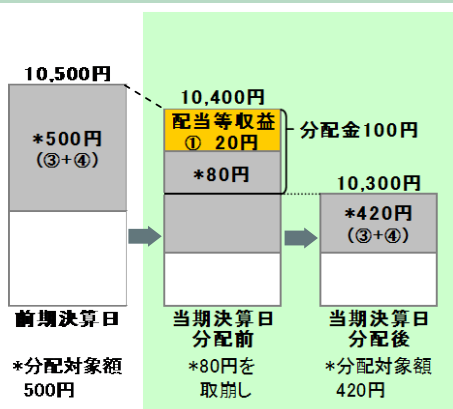
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



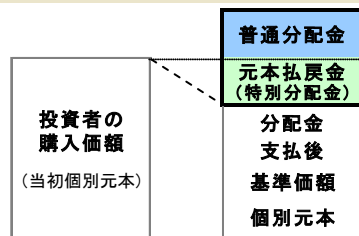
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金：当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金：追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

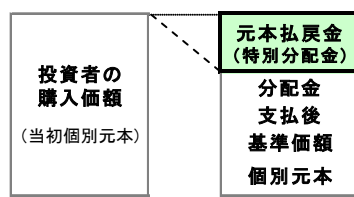
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※ 元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体例は以下の通りです。販売会社によっては金額指定(購入時手数料を含む場合と含まない場合があります)、口数指定のいずれかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

【金額を指定して購入する場合】(購入時手数料を含む場合)

例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

【口数を指定して購入する場合】

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×手数料率(税込)となり、100万円と購入時手数料の合計額をお支払いいただくことになります。

その他の留意事項

本資料で使用している指数について

先進国株式：MSCI ワールドインデックス

先進国高配当株式：MSCI ワールド高配当インデックス

上記指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

「信用格付会社等の提供する格付け等の情報」に関する免責事項等については、委託会社のホームページでご確認ください。<https://www.am.mufg.jp/other/disclaimer.html>

【GICS（世界産業分類基準）について】

Global Industry Classification Standard（“GICS”）は、MSCI Inc.とS&P（Standard&Poor's）が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2025について

LSEG リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。選定に際しては、「Lipper Leader Rating（リッパー・リーダー・レーティング）システム」の中の「コンシスタント・リターン（収益一貫性）」を用い、評価期間 3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにLSEG リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、<https://www.lipperfundawards.com/>をご覧ください。LSEG Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

※評価基準日：2024年12月末

本資料に関するご注意事項等

- 本資料は三菱UFJアセットマネジメントが作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。



三菱UFJアセットマネジメント